



戦争法案を廃案に追い込むまで、発行します。(中野貞彦)

No.18 2015.9.21

☆重要な記事を集めて紹介し、短い感想、コメントを付します。出所の URL を明記します。

選挙協力含む「戦争法（安保法制）廃止の国民連合政府」実現を日本共産党志位委員長がよびかけ、9/19

前号「廃案ニュース」No.17（～9/18、国会正門前集会での学生のスピーチ～）を多くの方に送ったところ、沢山のご感想・ご意見をいただきました。いくつか紹介します。

☆女性のスピーチ、安倍政権の本質と対決していると思います。戦争を知らない世代がここまで見抜いていること、希望です。あきらめてはならないと発破をかけられた思いです。

☆この内容に共感します。大馬鹿な首相アベ・この日本全体を危険にさらす法案がきっかけになって選挙に向かう若者が増えると期待しております。今から日本が少しでも良い方向に向かうと期待したいです。前・前々回の選挙でアベに投票した人・選挙に行かなかった人はアベ自民党と同罪ですが、その反省に立って、次回以降の選挙の投票行動に責任を持ってほしいものです。これからの野党の共闘にも期待しています。選挙先の受け皿が欲しいです。野党がバラバラでは自民党・公明党の集票・利益団体に勝てません。そんな想いです。

☆このたたかいの中で人を鼓舞する、勇気を喚起させる言葉をたくさん聴きました。若い皆さん、お母さん、学者の皆さん、戦争体験者の皆さん、みんなさんの心は同じでも、怒りはひとつでも言葉は同じではない。一人ひとりの言葉の強さを日々感じました。それがあふれていました。戦いは新しい局面に入りました。頑張りましょう。

☆がっかりとか、挫折の暇がありませんね。若者の行動・発言には、実に励まされますね。先の、「借金漬けになりながら学んだものは、独裁的権力者を批判する知性です。…」(大略)も、素晴らしいです。JCPの「戦争法（安保法制）廃止の国民連合政府」構想は、選挙権18才のこともあり、若者自身が「賛成議員は選挙で落とせ」、と言っていますから、大変、時宜にかなっていますね。

日本共産党の志位委員長が19日に、「たたかいをさらに発展させよう」「国民連合政府を作ろう」「国政選挙で選挙協力を行おう」という呼びかけを発表しました。斬新・大胆で「選挙先の受け皿が欲しいです」という要望に正面から応えています。

(全文は http://www.jcp.or.jp/web_policy/2015/09/20150919-yobikake.html)

今日の『東京新聞』の「本音のコラム」も同じ趣旨のことを語っているので、右に紹介します。

21 特報 11版 2015年(平成27年)9月21日(月曜日)

東京新聞

本音のコラム

安保関連法がついに可決、成立した。先週は連日、国会に通った。反対運動のうねりは大きかったが、議席数の違いは乗り越えられなかった。まずは、あらゆる手段で採決を引き延ばした野党5党の皆さんに感謝。「闘ってくれてありがとう」と言いたい。皆さんへの批判は、私も一緒に受けましょう。

この先も、安倍内閣のいいようにはさせられない。次のヤマは、来年夏の参院選。とにかく自民の議席を減らさないと、やりたい放題が続く。背水の陣はまだ続くのだから。

何よりほしいのは、自民党に入れたくない人の

野党5党の皆さんへ

選挙協力が戦術的にできれば、政権担当能力もありそうに見える。一致協力して、安保法に反対した皆さんなら可能ではないでしょうか？(看護師)

投票先、安倍政権の支持率が下がっても、自民党の支持率はさほど下がっていない。今のままだと、また自民党が議席を確保する。骨の髄まで自民党と言いつ人は変わらないうが、どちらに転ぶかわからない人を何とかこちら側に引き寄せたい。

まずは、野党にはもっと魅力的になってほしい。それに加えて、ぜひ共闘を。野党同士が協力して、非自民票を有効に集められないか。例えば、民主党と共産党の候補者の票を足すと自民党の候補者より票が多かった、みたいな負け方をしないでほしいのだ。

宮子 あずさ

— 学者の会が抗議声明 —

運動を発展させる

20日、学者の会が「学者の会抗議声明100人記者会見」(参加者171人)を行い、声明を発表。「違憲立法の適用を許さず、廃止へと追い込む運動へと歩みを進めることを、主権者としての自覚と決意を込めて」表明しています。ホームページ参照。



「採決」はそもそもなかったというのが真相！ 参院特別委員会の「安保関連法案の採決不存在の確認と法案審議の続行を求める申し入れ」の賛同署名にぜひご協力を！！

醍醐聰氏のブログ——9月25日（金）10時締切り、会期末（9月27日）までに提出。

「廃案ニュース」をお送りしている方から重要な情報をいただきました。醍醐聰氏のブログ (<http://sdaigo.cocolog-nifty.com/blog/2015/09/post-bd74.html>) (2015年9月20日) から以下に転載します。

皆様

政府・与党は9月17日の参議院安保特別委員会で、2つの安保関連法案ほか計5件の案件を「採決」し、「可決」したとみなし、マスコミもそのように報道しています。しかし、「採決」の場面をテレビで視た多くの市民の間で、「あのように委員長席周辺が騒然とし、委員長の議事進行の声を自席で委員が聴き取れない状況で、5件もの採決がされたとは信じられない」という声が飛び交っています。至極もったもな感想ではないでしょうか？

ということは、「強行採決」に抗議する以前に、「採決」はそもそもなかったというのが真相ではないでしょうか？このような余りに理不尽な状況を見過ごすことはできないと考え、緊急に、山崎参議院議長、鴻池安保特別委員会宛てに次のような申し入れをすることにしました。

そこで、以下のとおり、皆様に賛同の呼びかけをさせていただきます。

「安保関連法案の採決不存在の確認と法案審議の再開を求める申し入れ」への賛同のお願い

<http://netsy.cocolog-nifty.com/blog/2015/09/post-6f5b.html>

1. 申し入れに賛同くださる方は次のサイトに載せた「賛同署名の入力フォーム」にご記入のうえ、至急、お送りくださるようお願いいたします。

<http://form1.fc2.com/form/?id=009b762e6f4b570b>

2. ご記入いただいた氏名、所属／お住まいの都道府県名はそのまま名簿に記載して提出します。また、記入いただいたメッセージとともに、専用のサイトに掲載させていただきます。匿名をご希望の方はその旨を必ず付記ください。

3. 申し入れは、賛同者名簿を添えて、今国会の会期末（9月27日）までに提出します。それに合わせて賛同署名は9月25日（金）10時締切りとします。

4. 時間が切迫しているため、僭越ながら、醍醐1人の呼びかけでスタートさせていただきますが、呼びかけ人に加わっていただける方は次へご一報をお願いいたします。

shichosha_kangeki@yahoo.co.jp または、080-7814-9650

☆弁護士有志が、「参議院特別委員会での安保関連法案の議決の不存在確認および審議の再開を求める声明」(http://sdaigo.cocolog-nifty.com/bengoshiyusi_seimei.pdf)を出しています。→非常に明快！

☆地方公聴会 150918@横浜について解説（文字）と動画です。日時 2015年9月18日（金）17:00～
場所 参議院議員会館（東京・永田町） 会見者：広渡清吾氏（専修大学教授・東京大学名誉教授、元日本学術会議会長）と水上貴央氏（弁護士）<http://iwj.co.jp/wj/open/archives/265498>
「選挙先の受け皿が欲しい！」